

13 JAって何だろう？

JAというのは、農業協同組合(農協)の愛称(ニックネーム)です。協同組合は、同じ目的を持った仲間が集まり、お互いに助け合い、幸せになろうという「協同組合精神」をもとになりたっている組織です。協同組合はJAのほかに、生活協同組合、漁業協同組合、森林組合などがあります。



JAは農業のサポーター

JAは北海道から沖縄まで全国各地にあり、地域の中で、特色をいかしたさまざまな農業をサポートしています。

新潟県には、8のJAがあります(令和8年3月現在)。みなさんの家の近くにもJAがあるか、さがしてみてください。

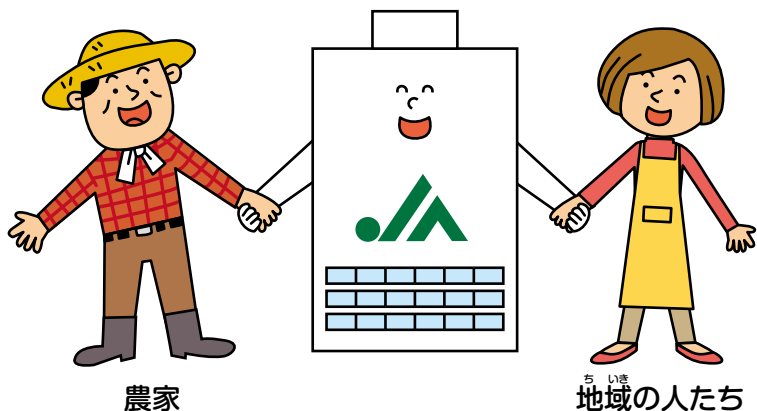
協同組合がユネスコの「無形文化遺産」に！！



ユネスコは、2016年11月30日に協同組合をユネスコ無形文化遺産に登録しました。この登録は、全世界にある協同組合が大切な財産であり、これを受け継ぎ発展させていくことを求められていることが国際的に評価されたものです。

無形文化遺産には、他に和食・歌舞伎・能楽等があるよ！

JAの役割



農家

地域の人たち

JAは、農家や地域の人たちなどの「組合員」が地域の農業とくらしを守り、より良い地域社会をきずくことを目的に組織された協同組合です。

JAはふつうの会社とは違い、組合員がお金を出し合って作られます。また、組合員みずからが利用・運営しており、組合員の共通の利益のために仕事をしています。

● JAは地域の農家と農業をサポートしています。

JAは、農家に農業技術や農業経営の指導をしたり、農業に必要な資材を共同でたくさん仕入れて安く売ったり、農畜産物を販売したりしています。また、「信用」と呼ばれる銀行のような仕事や、「共済」と呼ばれる保険会社のような仕事もしています。



▲農業技術の指導のようす



▲JAの信用窓口 (JA新潟市)

● JAは地域の人たちのくらしを支えています。

JAは、生活に必要な食料品や日用品、ガソリンや灯油などの燃料を取り扱っています。

また、組合員や地域住民の健康を守る仕事や、お年寄りのしゅみや交流の場を作るといった地域のボランティア活動のお手伝いをしています。



▲ガソリンや灯油を扱う「JA-SS」

JAの取り組み例

① 安全・安心な「食」

● 安全・安心な「食」を供給するために

JAグループでは、現在「国消国産」という考え方をPRしていますが、以前から安全で安心な「食」を供給する取り組みに力を入れています。特に、地元でとれたものを地元で食べる「地産地消」は、新鮮で、生産した農家や栽培の方法を確認しやすいです。また、農産物を遠くまで運ばなくてよいので使用する燃料も少なく、環境にもやさしいのでおすすめです。

● 「農産物直売所」

「農産物直売所（ファーマーズマーケット）」では地元でとれた安全・安心な野菜や果物をいつでも買うことができ、生産者と消費者のみなさんとの距離が近づく場所です。JAの近くに建てられた小さな直売所から、駐車場がある大きな直売所まで、いろいろな直売所があり、地元の食材を使ったそうざいや、パンやスイーツ、レストランがある店舗もあります。近くのJAの直売所へぜひ足を運んでみてください。



● 「学校給食」でも

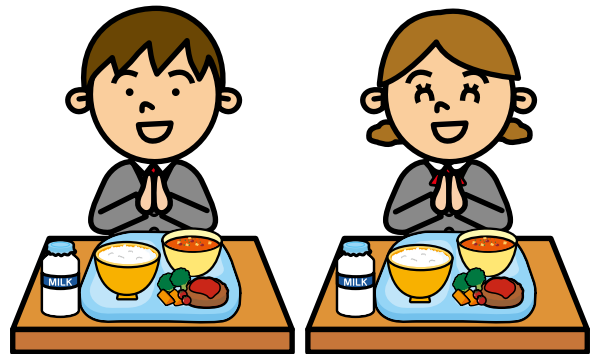
地域の子どもたちに地域でとれた安全・安心な農畜産物を食べさせたい、提供したいという学校・保護者と生産者の思いが重なり、学校給食で地産地消の取り組みが全国的に広がっています。

地元の農畜産物を使った「地場産給食の日」を設けたり、生産者やJA職員を講師として招き、どのようにして農畜産物が作られているのかを学んだりする取り組みも広がっています。

JAでは、学校給食用の米だけでなく、米粉になれ親しんでもらうため、学校給食の米粉パンや米粉めんの普及の手助けを行っています。

「米粉パンの特徴」

- 米本来の甘さがあり、糖分を抑えることができる。
- 水分含量が多く、しっとり・もちもちした食感。
- 水分含量が多いので、同じ重さの小麦粉のパンと比べて低カロリー。
- 食物繊維が豊富。
- ゆっくり消化されるので、腹持ちがよく、血糖値が上がりにくい。
- 米粉100%のパンなら、小麦アレルギーの人も安心して食べることができる。



JAの取り組み例

② 食農教育

●「食農教育」ってなあに？

食農教育は、「食べる」という人間にとって大事な行為そのものだけでなく、その背景にある動物や植物の「いのち」を感じ、日本の豊かな自然や四季の尊さ、農業の果たす役割を伝え、「食」と「農」との目には見えない強いつながりを学びます。



●「あぐりスクール」

いのち・食べ物・農業の大切さを知り、理解を深めてもらうため、農作物の収穫や、野菜や果物の集出荷施設の見学、調理実習等といった体験スクールを、年間を通じ開校しています。



●「料理教室」

JAの女性部や職員が講師となり、食の大切さや、朝食の必要性、ごはん食の良さを知ってもらうため、料理教室を開催しています。



●「ごはん・お米とわたし」 作文・図画コンクール

次代を担う全国の小・中学生などを対象に、ごはんを中心とした食生活や稲作、食料・農業に対する理解をより一層深めてもらうことを目的に開催しています。

（本資料表紙：小学校5年生の
優秀作品（図画）
本資料裏表紙：同優秀作品（作文））

●「バケツ稲づくり」

バケツ稲とは、「バケツで育てる稲」のことです。次代を担う子どもたちに、日本の稲作や農業に触れ、もっと身近に考えてもらいたい、そんな思いから「バケツ稲づくりセット」を配布しています。

バケツと土を用意すれば庭やベランダなど場所を選ばず、手軽に稲作を体験することができます。

バケツ稲づくり

— セットの内容 —



- ①種もみ・肥料セット……発芽率の高い種もみと、稲の成長を促す3種類の肥料を同封。
- ②栽培マニュアル……芽出しから収穫まで、栽培の基礎知識を写真とイラストで解説。
- ③お名前シール……バケツ貼付用。

※バケツ、土は同封しておりません。

新潟県内のJA

あなたの街にあるJAはどこかな？



令和8年3月現在8JA